

■ 稲籾のビタナール浸漬法 ■

| 塩水選 | 薬剤処理 | ビタナール浸漬 1000倍液 | 水切り | 清水に浸漬 |
|-----|------|-------------------|--------|-------|
| | | 24時間 | 8～12時間 | 4～6日 |

- ◆ 酸素補給—種籾を清水に浸漬中は水をかえるか、

1日1回30分～1時間程度、水より引き上げて

酸素補給をおこなう。

■ ビタナール散布法 ■

- * 緑葉が展開したら、いつからでも散布します。

1,000倍液で

- * 散布の回数—少なくとも3～4回

- * 散布の間隔—5～6日に1回

(但し、3日おき位の散布はさらによい)

- * 葉面に散布の量—噴霧器でさっと散布し、
葉がちょっと濡れる程度。

- * 散布回数が多くなる場合

3,000～5,000倍率で散布する。

- * 灌水時の使用濃度—30,000～50,000倍液位で。

稲の葉面、茎面、穂面に ビタナール酵素を散布する方法

| | | |
|------------------|--------------|---------------|
| * 田植えし、1週間経ったころに | 1,000～2,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * 分けつ期(有効茎増える)に | 1,000～5,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * 幼穂形成期に | 1,000～3,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * 穂がチラチラ見え出したら | 1,000～5,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * 穂が出揃ったら | 1,000～5,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * チッソ過多、軟弱、過繁茂時に | 1,000～3,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * 風害、特に塩害の解消に | 1,000～3,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * 穂が垂れだしたら | 1,000～5,000倍 | (50～100ℓ/10a) |
| * 完全倒伏した時に1～2回 | 1,000～5,000倍 | (50～100ℓ/10a) |

ビタナール酵素・灌流の時期

- * 挿苗と同時に、または挿苗直後に
- * 田植え後 1 週間経った頃に
- * 幼穂形成期に
- * 出穂前、または出穂直後に
- * 追肥の後で
- * 軟弱、チッソ過多、過繁茂の時に
- * 薬害、肥料害、寡照、低温、塩害時に

ビタナール酵素・灌流の方法

| 灌流の回数 | 3回では | 2回では | 1回では |
|----------|-------|------|-------|
| 1回の使用原液量 | 30cc強 | 50cc | 100cc |

1. 初めに、水田の落水口をしっかりと止め、水を流し込みます。
2. その間に、18～20ℓ入る位の容器(バケツでも)を用意し、水をいれておきます。
3. 次に、10aに流し込むビタナール原液の量を決めたら、これを上記の18～20ℓの水に完全に溶解させておきます。
4. 最後に、この溶解させた液を水口の辺りから一度にではなく、せめて5～6分位をかけて水田に流し込んでください。
5. 灌水の日数ですが、水が自然に引くままにまかせます。